

巨大化メカニズムの理解から みえる樹木の力学的支持機能

キーワード 木材の組織と材質、あて材



■ 研究概要

「樹木はどのように自身の形（樹形）を維持しながら巨大化しているのか」というテーマについて、細胞形態の計測といった木材組織学の視点から研究しています。また、上記テーマの理解につながる関連研究として、豪雪地域でみられる「根元曲り」についても研究対象としています。



- ↑ 伐採したスギの根元曲り部分
樹幹が弓なりに湾曲している（青色点線）
- ← 根元曲りを形成したスギ

※山形大学農学部附属やまがたフィールド科学センター
上名川演習林で撮影

■ どのような共同研究・連携に結びつけられるか？

- ・ 木材利用の高付加価値化
- ・ 林地残材の新規用途の開拓

相蘇 春菜 准教授 AISO, Haruna

専門分野：木材組織学
E-mail：haiso@tds1.tr.yamagata-u.ac.jp

